

IV 各種記入例

【記入例1】 納入書の記入例

(表)

鹿 児 島 県 奄 美 市 市 民 税 特 別 徴 収 納 入 済 通 知 書 ㊦											
市区町村コード			口 座 番 号			加 入 者 名					
4	6	2	2	2	5	02010-0-960070			奄 美 市		
月 別		指 定 番 号		納 入 金 額 (1)							
X 年 7 月 分		1	2	3	4	5	6	7	8	*****	
462225		給 与 分		億 千 百 十 万 千 百 十 円							
		納 入 金		延 滞 金							
		退 職 所 得 分		督 促 手 数 料							
		(2) 合 計 額		2		2	0	0	0	0	
納期限 X年8月10日		取りまとめ		〒812-8794 福岡貯金事務センター							
領 収 日 付 印		鹿児島銀行 大島支店									
		(特別徴収義務者)		住所 894-8555 又は 所在地 鹿児島県奄美市名瀬〇町〇番〇号 氏名 又は 名称 △△△△株式会社							

毎月給与から徴収した税額と一括徴収した税額の合計額を記入して下さい。

退職所得の分離課税に係る所得割を納入するときに記入して下さい。
退職所得分の分離課税がある場合は、裏面の納入申告書も同時に記入して下さい。

人員欄に記載された人に対して支給された退職手当等の合計金額を記入して下さい。

退職所得の分離課税に係る人員内訳を記入して下さい。
勤務年数で控除額が変わりますので必ず記入をして下さい。
※勤務年数は1年未満の端数は切上げて算出します。
例：9年1か月→10年

(裏) ※退職の時のみ使用します。

退 職 所 得 分 市 民 税 納 入 申 告 書													
奄美市長殿													
X年8月10日提出													
退 職 手 当 等 支 払 金 額		X 年 7 月 分 人 員		1 人									
6		0	0	0	0	0	0	0	0				
特 別 徴 収 税 額		市 民 税		6						0	0	0	0
		県 民 税		4						0	0	0	0
特 別 徴 収 義 務 者		住 所 (居 所) 又は 所在地		鹿児島県奄美市名瀬〇町〇番〇号									
		氏 名 又は 名称		△△△△株式会社 印									
		法 人 番 号											
地方税法第50条の5及び第328条の5第2項の規定により上記のとおり分離課税に係る所得割の納入について申告します。													
① 退 職 者 の 内 訳					② 退 職 者 の 内 訳								
1月1日の住所 奄美市名瀬△町△番△号					1月1日の住所								
氏 名 奄美 一郎 勤続年数 10年 1 か月					氏 名 勤続年数 年 月 日								
就 職 年 月 日 19・6・1 退 職 年 月 日 29・7・31					就 職 年 月 日 退 職 年 月 日								
退 職 金 額 6,000,000 円					退 職 金 額 円								
市 民 税 60,000 円 県 民 税 40,000 円					市 民 税 円 県 民 税 円								

※こちらには「*****」の表示のみで金額は記入されません。
下の合計額の箇所に金額を記入してください。

退職所得分等が無い場合は、特別徴収税額の決定・変更通知書の月割額を記入する。
※金額記入の際には、数字の前に「¥」をつけないでください。黒のボールペンでの記入をお願いします。

退職所得の分離課税に係る所得割を納入する人員を記入して下さい。

表面の納付金額(2)の退職所得分の内訳を記入して下さい。

特別徴収義務者の所在地及び名称、法人番号を記入して下さい。

【記入例2】（異動届出書） 退職、休職等で普通徴収へ変更する場合

(ア)の年税額から(イ)の徴収額を差し引いた額を記入してください

異動者の税額を何月から何月まで徴収したか、また、その合計額を記入してください

税額通知書の「特別徴収税額」欄の数字を記入してください

特別徴収税額通知書の「宛名番号」を記入してください

給与所得者の個人番号(マイナンバー)を記入してください

給与の支払を受けなくなった以降の住所を記入してください

異動者の氏名を記入してください

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書

提出用

受付印

奄美市長 殿 X年11月6日提出	給与支払者 (特別徴収義務者)	住所(居所)又は所在地 氏名又は名称 個人番号又は法人番号	特別徴収義務者指定番号 1234567	※市町村処理欄	連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号 総務課 給与係 氏名 奄美 花子 電話 (0997)52-1111
---------------------	--------------------	-------------------------------------	------------------------	---------	--

宛名番号	氏名	特別徴収税額(年税額)	徴収済額	未徴収税額(ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の特徴	1月1日以降退職時までの給与支払額
宛名番号	氏名	円 120,000	6月から10月まで 円 50,000	円 70,000	X・10・30	①退職 ②転勤 ③休職 ④長期欠勤 ⑤死亡 ⑥その他	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 ③ 普通徴収(理由)	1,500,000 円 控除社会保険料額 300,000 円

◎ 給与の支払いを受けなくなった後の月額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載して下さい。
 (注) 退職の日が1月1日から4月30日の方の未徴収税額については、一括徴収が義務付けられています。できるだけ本人の了解を得て一括徴収して下さい。

一括徴収の理由	徴収予定			※市町村記入欄	
1. 異動が 年12月31日まで、申出があったため (月 日申出)	徴収予定月	徴収予定日	徴収予定額		(上記(ウ)と同額)
	2. 異動が 年1月1日以降で、特別徴収の継続の希望がない為	円	円		
異動者印	一括徴収した税額は 月分で納入します。				

(ウ) 未徴収税額は異動した方に請求いたします。金額等お間違えないように気を付けてください。

会社の座版(社版)と印鑑を押印

個人経営の場合は、給与支払者の個人番号、事業所の場合は、法人番号を記入してください

経理担当の方の氏名と連絡先を記入してください

特別徴収税額通知書の「指定番号」を記入してください

該当の項目をマルで囲んでください

退職した年の1月から退職時までの給与(賞与)支払額合計を記入してください

退職した年の1月から退職時までに控除された社会保険料(健康保険・雇用保険・年金保険料等)の額を記載してください

該当する項目をマルで囲んで下さい。また、普通徴収で理由がある場合はその旨を記入してください

異動した日を記入してください

【記入例3】(異動届出書)退職・休職等で一括徴収される場合

(ア)の年税額から(イ)の徴収額を差し引いた額を記入してください

異動者の税額を何月から何月まで徴収したか、また、その合計額を記入してください

税額通知書の「特別徴収税額」欄の数字を記入してください

異動者の氏名を記入してください

特別徴収税額通知書の「宛名番号」を記入してください

給与所得者の個人番号(マイナンバー)を記入してください

給与の支払を受けなくなった以降の住所を記入してください

該当する項目をマルで囲んでください

一括徴収の申出があった場合は納税者本人の印鑑を押してください

一括徴収を行う日付を記入してください

一括徴収した際の納入月を記入して下さい
ここで記載した納入月は特別徴収の納入月となりますのでお気を付けてください

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

受付印		給与支払者 (特別徴収義務者)		住所(居所)又は所在地	特別徴収義務者指定番号	1234567	提出用
奄美市長殿		給与支払者		氏名又は名称	連絡先の氏名及び所属課、係名	総務課 給与係 氏名 奄美 花子	※市町村処理欄
X年11月6日提出		宛名番号		個人番号又は法人番号	並びに電話番号	電話 (0997)52-1111	第十八号様式(用紙日本工業規格A4)
宛名番号		氏名		特別徴収税額(年税額)	徴収済額	未徴収税額(ア)-(イ)	異動年月日
個人番号		給与の支払を受けなくなった後の住所		円 6月から10月まで	円 70,000	円 X・10・30	異動事由
新しい勤務先の名称及び所在地		奄美市名瀬△町△番△号		円 120,000	円 50,000		異動後の未徴収税額の特徴
							1. 特別徴収継続 ② 一括徴収 3. 普通徴収(理由)
							1月1日以降退職時までの給与支払額
							1,500,000円
							控除社会保険料額
							300,000円

◎ 給与の支払いを受けなくなった後の月額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載して下さい。
(注) 退職の日が1月1日から4月30日の方の未徴収税額については、一括徴収が義務付けられています。できるだけ本人の了解を得て一括徴収して下さい。

一括徴収の理由	徴収予定			※市町村記入欄	※一括で入金する場合は一括徴収分をどの納入月にするのは注意して下さい。 例えば、10月分を一括徴収した税額を納入 →10月分の納期11月11日なので期限までに納入する。 10月分=10月10日納期と間違えないように注意して下さい。 ※1/1~4/30までに退職・休職される場合はなるべく一括徴収を行ってください。
① 異動が X年12月31日までで、申出があったため(10月30日申出) 2. 異動が 年1月1日以降で、特別徴収の継続の希望がない為	徴収予定月日	徴収予定額	徴収予定額合計(上記(ウ)と同額)		
	10・30	70,000円	70,000円		
異動者印	一括徴収した税額は10月分で納入します。				

会社の座版(社印)と印鑑を押印

個人経営の場合は、給与支払者の個人番号、事業所の場合は、法人番号を記入してください

経理担当の方の氏名と連絡先を記入してください

特別徴収税額通知書の「指定番号」を記入してください

異動した日を記入してください

退職した年の1月から退職時までの給与(賞与)支払額合計を記入してください

該当の項目をマルで囲んでください

退職した年の1月から退職時までに控除された社会保険料(健康保険・雇用保険・年金保険料等)の額を記載してください

一括徴収希望の方はこちらをマルで囲んでください

【記入例4】（異動届出書） 新しい勤務先で特別徴収を継続する場合

(ア)の年税額から(イ)の徴収額を差し引いた額を記入してください

異動者の税額を何月から何月まで徴収したか、また、その合計額を記入してください

税額通知書の「特別徴収税額」欄の数字を記入してください

異動者の氏名を記入してください

特別徴収税額通知書の「宛名番号」を記入してください

給与所得者の個人番号(マイナンバー)を記入してください

給与の支払を受けなくなった以降の住所を記入してください

転勤等の異動により新転勤地で特別徴収を継続する場合はここに記入して下さい。
この場合必ず転勤先にも特別徴収を行う旨を伝えておいて下さい(徴収開始月、月額等)

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書
 特別徴収

受付印		給与支払者 (特別徴収義務者)		住所(居所)又は所在地		特別徴収義務者指定番号		1234567	
奄美市長 殿		氏名又は名称		氏名又は名称		連絡先の氏名及び		総務課 給与係	
X年11月6日提出		個人番号又は法人番号		個人番号又は法人番号		所属課、係名		氏名 奄美 花子	
宛名番号		氏名		特別徴収税額 (年税額)		徴収済額 (ア)		未徴収税額 (ウ)	
個人番号		宛美市名瀬△町△番△号		円 120,000		円 6月から10月まで 50,000		円 70,000	
給与の支払を受けなくなった後の住所		新しい勤務先の名前及び所在地		円 120,000		円 50,000		円 70,000	
給与の支払を受けなくなった以降の住所		円 120,000		円 50,000		円 70,000		円 70,000	
異動年月日		異動事由		異動後の未徴収税額の特徴		1月1日以降退職時までの給与支払額		円	
X・10・30		1退職 2転勤 3休職 4長期欠勤 5死亡 6その他		①特別徴収継続 ②一括徴収 ③普通徴収 (理由)		円		円	

◎ 給与の支払いを受けなくなった後の月額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載して下さい。
 (注) 退職の日が1月1日から4月30日の方の未徴収税額については、一括徴収が義務付けられています。できるだけ本人の了解を得て一括徴収して下さい。

一括徴収の理由				※市町村記入欄	
1. 異動が 年12月31日までで、申出があったため (月 日申出)	徴収予定 月 日	徴収予定額 円	徴収予定額合計 (上記(ウ)と同額) 円	転勤の場合は転勤先の新事業所での徴収開始月は前事業所の徴収済月の翌月からとなりますのでご了承ください。記入例の場合以下のように判断します。転勤前の事業所10月まで徴収済み。転勤先の事業所11月から特徴開始となります。転勤先の事業所の経理にも月額・徴収開始日を事前に伝えておいて下さい。	
2. 異動が 年1月1日以降で、特別徴収の継続の希望がない為	・	円	円		
異動者印	・	円	円	月分で納入します。	

提出用

第十八号様式(新紙日本工業規格A4)

会社の座版(社版)と印鑑を押印

経理担当の方の氏名と連絡先を記入してください

特別徴収税額通知書の「指定番号」を記入してください

個人経営の場合は、給与支払者の個人番号、事業所の場合は、法人番号を記入してください

転勤をマルで囲んでください

転勤後も特別徴収を行う場合は「特別徴収継続」をマルで囲んでください

退職した日を記入してください

【記入例5】 市・県民税徴収方法変更申出書

[普通徴収 ⇒ 特別徴収]

◎この申出書は、コピーして使用していただいても結構です。 ※印の欄は記載する必要はありません

基本番号 ※							
特別徴収義務者 指定番号	1	2	3	4	5	6	7
宛名番号 ※							

特別徴収税額通知書の「指定番号」を記入してください

普通徴収の納期限が過ぎているものは適用できないので注意してください

特別徴収の納期限が過ぎている場合、もしくは期限が間近のものは提供できませんのでご注意ください。

会社の座判(社判)と印鑑を押印してください

x年7月5日	所在地	〒 鹿児島県奄美市名瀬〇町〇番〇地		連係	総務課給与係	
給与支払者 (特別徴収義務者)	名称	△△△△株式会社		氏名	奄美 花子	
代表者の 職氏名印	代表者の 職氏名印	奄美 一郎		者	(0997) 52 - 〇〇〇〇 (内線) ××××	

給与所得者	フリガナ	ナゼ タロウ		基本番号 ※					左記の者について
氏名	氏名	名瀬 太郎							普通徴収の 2 期以降を
生年月日	T (S) H	61	年	1	月	1	日	旧姓	当社で 7 月分より
1月1日の住所	奄美市名瀬〇町〇番〇地								(8 月 10 日納入予定)
現住所	同上								特別徴収します。

期別	納期限	期別	納期限
1期	R1.7.1	6月分	R1.7.10
2期	R1.9.2	7月分	R1.8.13
3期	R1.10.31	8月分	R1.9.10
4期	R2.1.31	9月分	R1.10.10
		10月分	R1.11.11
		11月分	R1.12.10
		12月分	R2.1.10
		1月分	R2.2.10
		2月分	R2.3.10
		3月分	R2.4.10
		4月分	R2.5.11
		5月分	R2.6.10

申出理由	<input type="radio"/> 本人より特別徴収への変更希望があるため <input type="radio"/> 入社したため <input type="radio"/> 正社員となったため <input type="radio"/> その他 (理由を記入して下さい)
------	--

注意事項

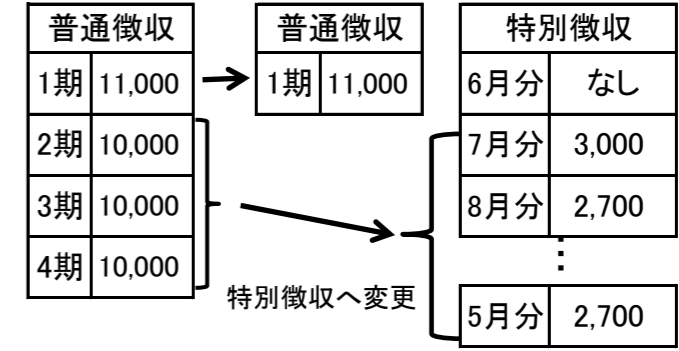
(注1) この申出書の提出時点で既に納期限を経過している普通徴収の期別税額を特別徴収に変更することはできませんので、普通徴収の納付書を使用してご本人で収めていただいでください。
 <普通徴収の納期限>
 1期 ⇒ 7月1日
 2期 ⇒ 9月2日
 3期 ⇒ 10月31日
 4期 ⇒ 1月31日
 ※土・日曜日にあたるときには、翌日・翌々日になります。

(注2) 納入をお急ぎのときは、月割額について、税務課課税係までお尋ねください。お問い合わせ先 TEL 0997-52-1111 内線 5214・5213

特別徴収に変更となる理由を記載してください

特別徴収に変更希望の方の氏名・住所・生年月日を記入して下さい
 なお、1月1日に住民票が奄美市にある場合のみ奄美市での特別徴収ができますのでお気をつけください

(例) 名瀬 太郎に普通徴収の納付書が【1期(11,000円)、2~3期(各10,000円)】来たとします。
 普通徴収1期(11,000円)は納期限7月1日の為、特別徴収への変更は2期分(9月2日)以降となります。
 特別徴収の納期限は6月分が7月10日ですが、特別徴収へ変更し、通知書を作成・送付するためには時間がかかります。【記入例5】では提出日が7月5日のため6月分(納期限7月10日)に間に合わないため、7月分(納期限8月13日)から特別徴収へと変更します。特別徴収は基本的に今年の6月から翌年の5月まで12回に分けてお支払いしてもらいます。今回の申出書では7月から特別徴収開始のため11回に分けての支払いとなります。



特別徴収する税額 $30,000円 \div 11ヵ月 = 2,727.2727... \approx 2,700円$ (10ヵ月分の税額)
 最初の月分で端数を調整するので $30,000 - (2,700 \times 10ヵ月) = 3,000円$ (最初の月の税額)

8月以降はすべて同じ